



フォーサイド グループ 2025年12月期 決算説明資料

補足説明資料

2025年12月期 連結業績ハイライト

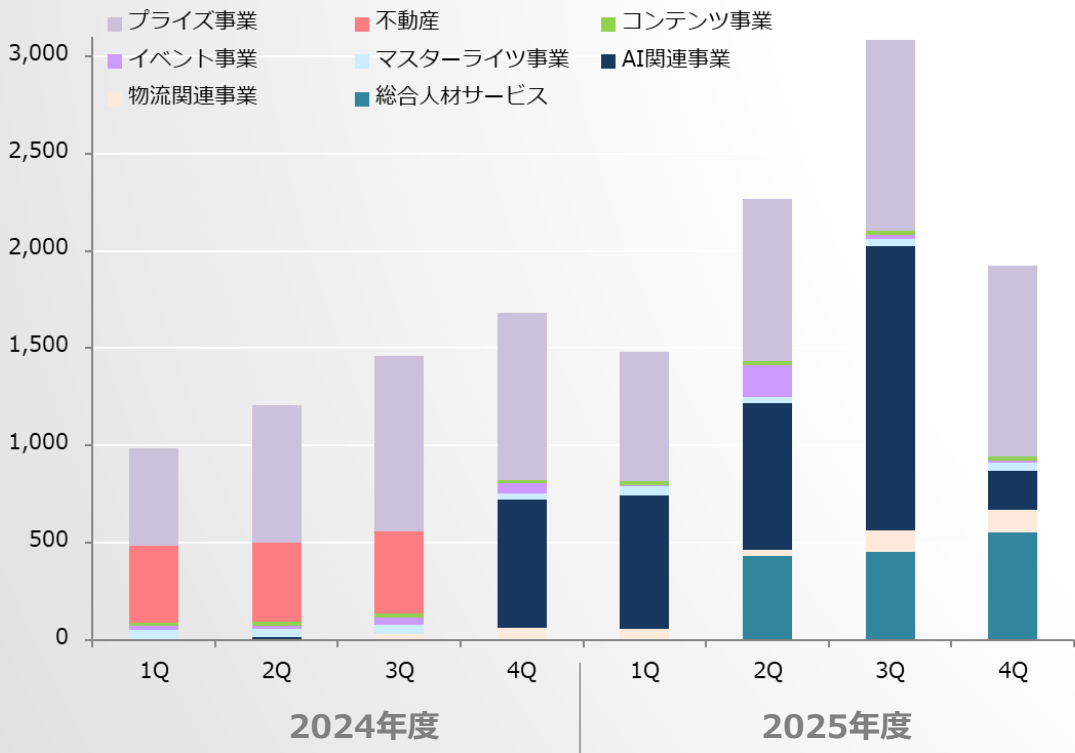
(単位：百万円)

	2024年度 通期	2025年度 通期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	5,340	8,748	163.8%	<p><営業収益> プライズ事業の受注が好調に推移したほか、イベント事業で大型イベントの開催があったことに加え、AI関連事業におけるGPUサーバー販売が売上に貢献。</p> <p>また、当第2四半期から開始した総合人材サービス事業及び当第3四半期に事業拡大した物流関連事業の受注が堅調に推移した結果、前第4四半期に撤退した不動産関連事業の売上減を上回り、前年同期比で大幅な増収となった。</p> <p><営業利益・経常利益> 不動産関連事業からの撤退で貸倒引当金繰入額を含む販売管理費を大幅に圧縮。</p> <p>また、プライズ事業が好調に推移し、総合人材サービス事業、物流関連事業においても堅調に利益を獲得。AI関連事業についても、複数の同業他社が参入したものの、一定の利益を獲得。</p> <p>その結果、前年同期を大きく上回った。</p> <p><当期純利益> 営業利益・経常利益を堅調に積み上げた結果、前年同期を大きく上回った</p>
売上総利益	1,818	2,019	111.1%	
販売管理費	1,767	1,555	88.0%	
営業利益	50	463	921.6%	
経常利益	47	479	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	64	440	683.9%	

プライズ事業が好調に推移、AI関連事業も売上に貢献。
また、総合人材サービス事業や物流関連事業も堅調に推移し、営業収益が大幅に増加。
不動産関連事業からの撤退による販売管理費の圧縮もあり、営業利益が大幅に増加。

営業収益の成長推移

(単位：百万円)



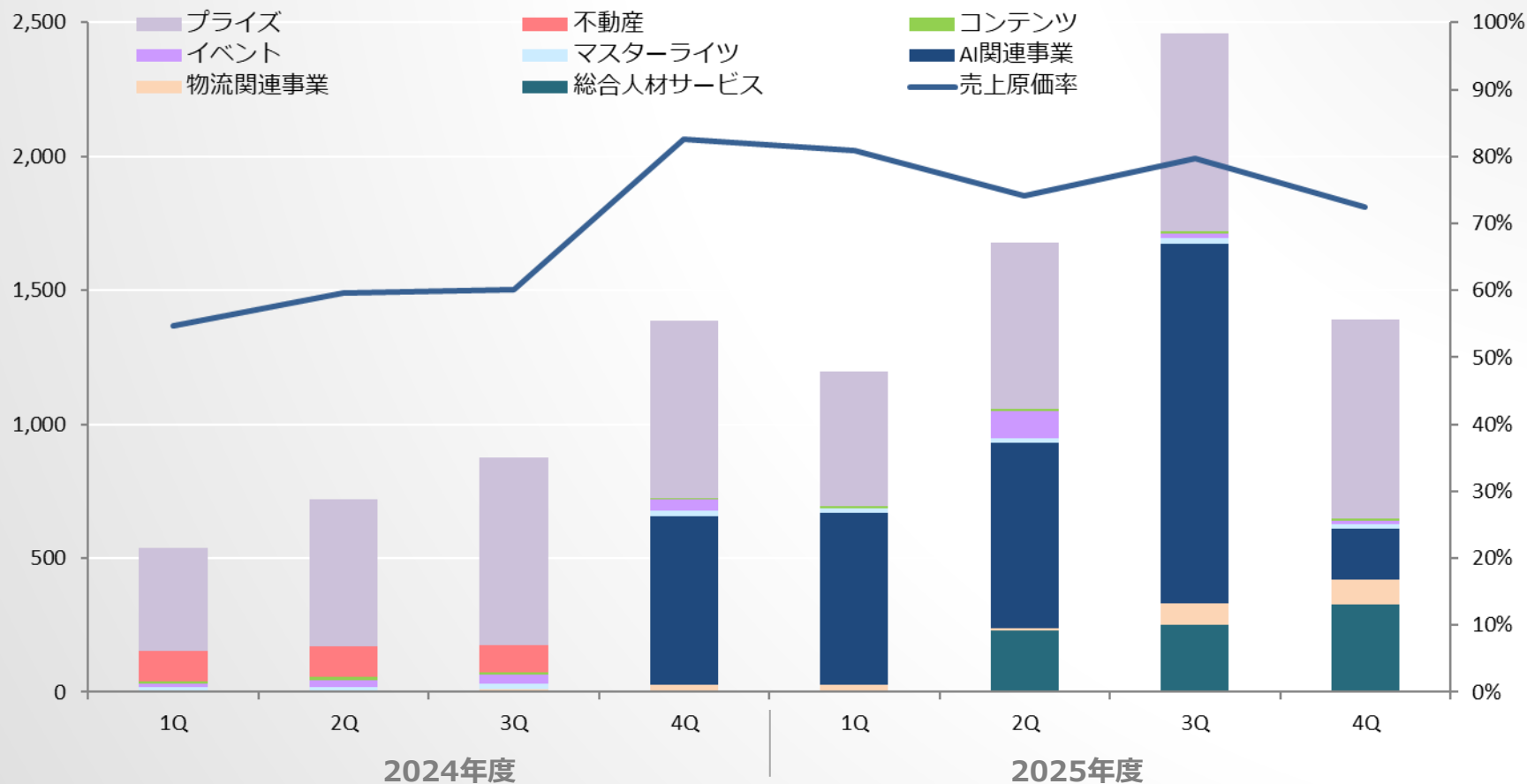
プライズ事業が好調に推移、AI関連事業も売上に貢献。また、総合人材サービス事業や物流関連事業が堅調に推移し、イベント事業での大型イベント開催があった結果、営業収益は前年同期を大きく上回った。

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	外国人観光客の増加による需要などもあり、キャラクターグッズや雑貨系商材を中心に受注件数が好調に推移。さらにコスト低減に努めた結果、増収増益。
コンテンツ事業	電子書籍サイト「モビぶっく」において新規顧客の獲得、顧客継続率を高めるための施策を実施した結果、増収。損失も改善。
イベント事業	第2四半期に開催した大型イベントが盛況であったため、増収。損失も改善。
マスターライツ事業	「Popteen専属モデルオーディション」、「ポップキューフェス2025」といったイベントを開催し収益獲得に努めた。女子小学生向け雑誌「Cuugal」の発行部数が減少傾向にあったものの、制作コスト、販管費の削減に努めた結果、減収したものの損失は改善。
AI関連事業	AI開発等に利用されるGPUサーバーの販売が順調に推移。また、AIを活用した退院サマリー自動作成ツールの納品完了による売上を計上した結果、増収増益。 一方で複数の同業他社のGPUサーバー販売への参入により受注が大きく減少し、第3四半期で受注が減少したことにより、第4四半期の営業収益は減少するとともに、新規受注がゼロ件となった。
物流関連事業	貨物利用運送事業は取引先の見直しを行い取扱高が減少したものの、安定的に利益を獲得。一般貨物自動車運送事業はドライバー人数・車両台数を拡大したことにより増収増益。
総合人材サービス事業	2025年3月に子会社を買収し、4月から当事業を開始。既存顧客の需要開拓、新規顧客の開拓を積極的に実施し、ITソリューション事業では大型案件を獲得。その結果、のれん償却費が利益を圧迫したものの、売上高・利益が堅調に推移。

売上原価の推移

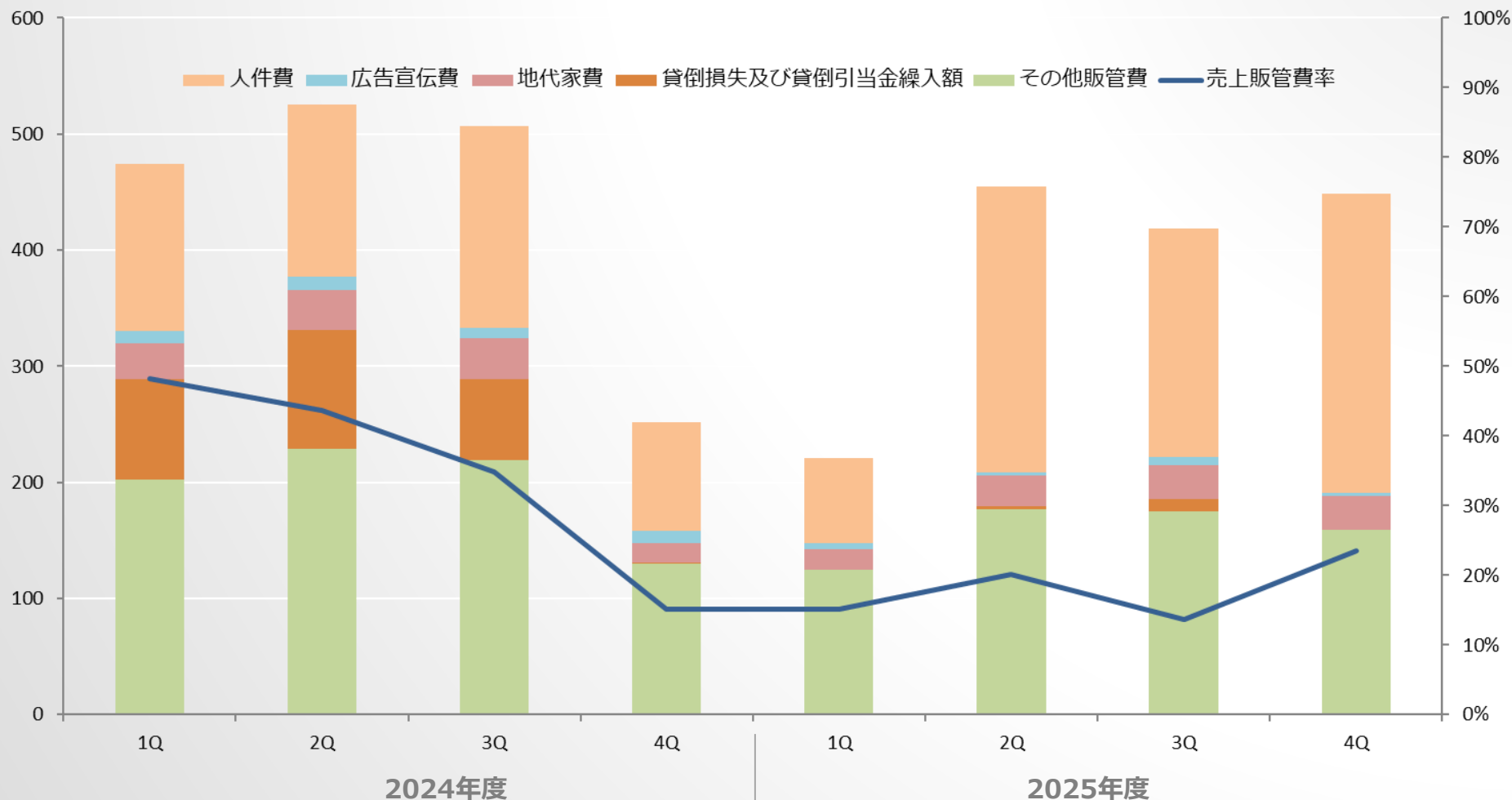
(単位：百万円)



プライズ事業では、輸送費や原材料費が高騰する中、原価低減に努め、前年度比で原価率が低下。一方で、AI関連事業におけるサーバー販売を前第4四半期から開始したことに伴い、全社における売上原価率は上昇。

販売管理費の推移

(単位：百万円)



前第4四半期に不動産関連事業から撤退したことにより、貸倒引当金繰入額が大幅に減少。
一方で、当第2四半期に総合人材サービス事業を開始したことにより、人件費が増加したものの、売上高販管費率は前期と比較して大きく低下。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年度末	2025年度末	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	3,565	4,712	1,146	現金及び預金の増加824百万円、のれんの増加281百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加256百万円、保険積立金の増加155百万円、前渡金の減少344百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,146百万円の増加となった。
負 債	1,065	1,634	568	長期借入金の増加369百万円、未払金の増加209百万円、1年以内返済予定の長期借入金の増加165百万円、その他流動負債の増加109百万円及び前受金の減少293百万円等により、前連結会計年度末に比べ568百万円の増加となった。
純資産	2,499	3,077	577	資本剰余金の減少47百万円、自己株式の減少184百万円及び親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加440百万円等により、前連結会計年度末に比べ577百万円の増加となった。

(注) 2026年1月31日現在、発行済株式総数は43,687,704株（うち自己株式96,274株）

2025年3月31日に株式会社antzを買収したことにより、資産、負債が増加。
また、自己株式の処分及び当期純利益の計上により、純資産は増加。



主力事業の活動展開状況

プライズ事業の展開



引き続き、移り変わりの早い消費者ニーズに応えることで収益拡大を目指す。
原材料費の高騰、円安の進行が続く中、仕入先の開拓などを進め、原価の抑制に努め、利益を確保する。

総合人材サービス事業 及び物流関連事業の展開



総合人材サービス事業

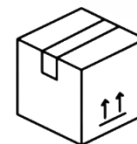
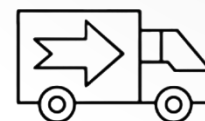
運送関連事業



連携



連携



ITソリューション事業

PC・SV・POS・ネットワーク機器の導入や入れ替えに伴う設計から保守・セキュリティ・防犯対策までをトータルでご提案、提供

派遣事業

人材派遣、アウトソーシング（業務請負）事業を中心に人材ビジネスの総合的发展を図っており、企業の皆様の人材ソリューションをご提案、提供

運送事業

首都圏の営業所とのネットワーク網により、日本全国への安全で確実な貨物輸送を実現するとともに、円滑な輸送体制を確立するため、様々な協力会社と輸送パートナーとの提携
当グループは、安全・品質を最優先で事業を展開

マスターライセンス事業の展開

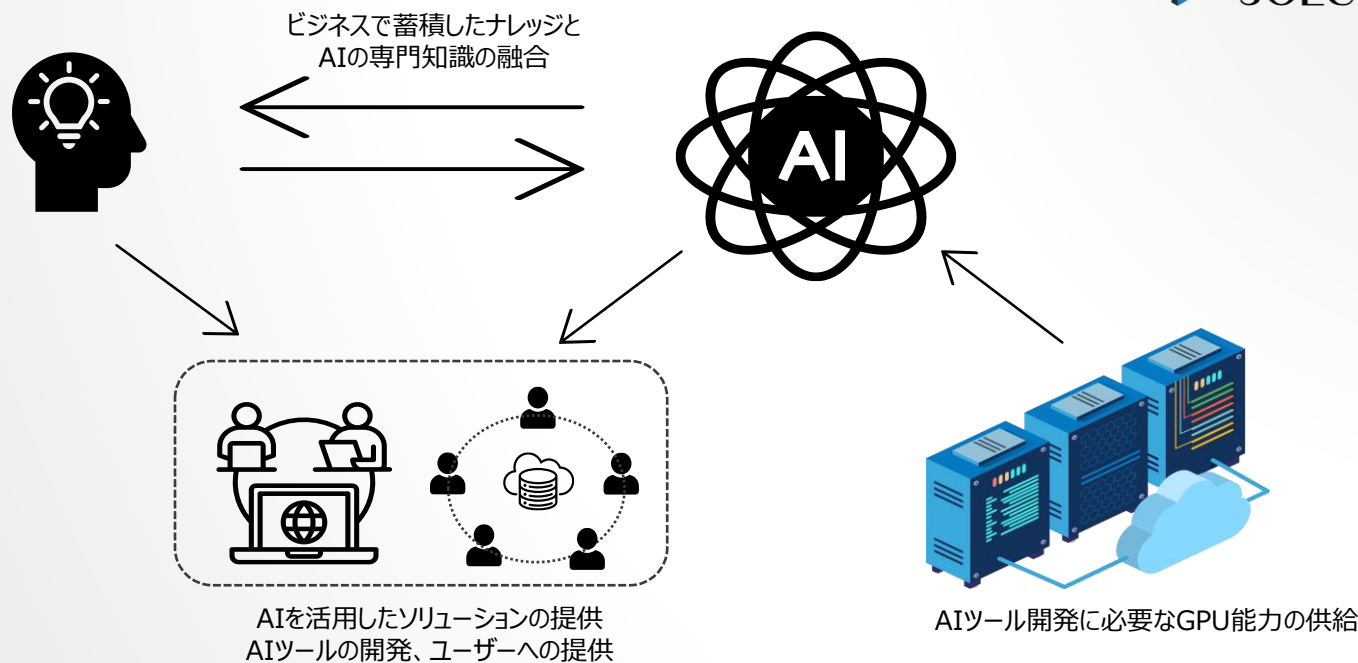
Popteen



PopteenはWEBマガジン、Cuugalは誌面で展開。

読者層に人気のタレントなどのモデルへの起用、SNSを活用したリアルタイムな情報発信で認知度の向上、
また、公式オンラインショップでの販路拡大、リアルイベントの開催により収益拡大を目指す。

AI関連事業の展開



01

AIツールの 受託開発

当社が有するナレッジ、ネットワークを活用し、
AIを活用したソリューションを顧客に提案
ソリューションを実現するツールを受託開発

02

AIを活用した ツールの提供

社会課題を解決するためのAIツールを
自社開発し、広くユーザーに提供

03

データセンター事業

自社保有のサーバーを活用したソフトウェア
の開発
サーバーリソースの外部貸出

競争激化に伴い、GPUサーバー販売事業を縮小。

AIを活用した新たなDXツールの開発の提案や開発を行う体制構築を実施し、早急な収益の立て直しを図る。

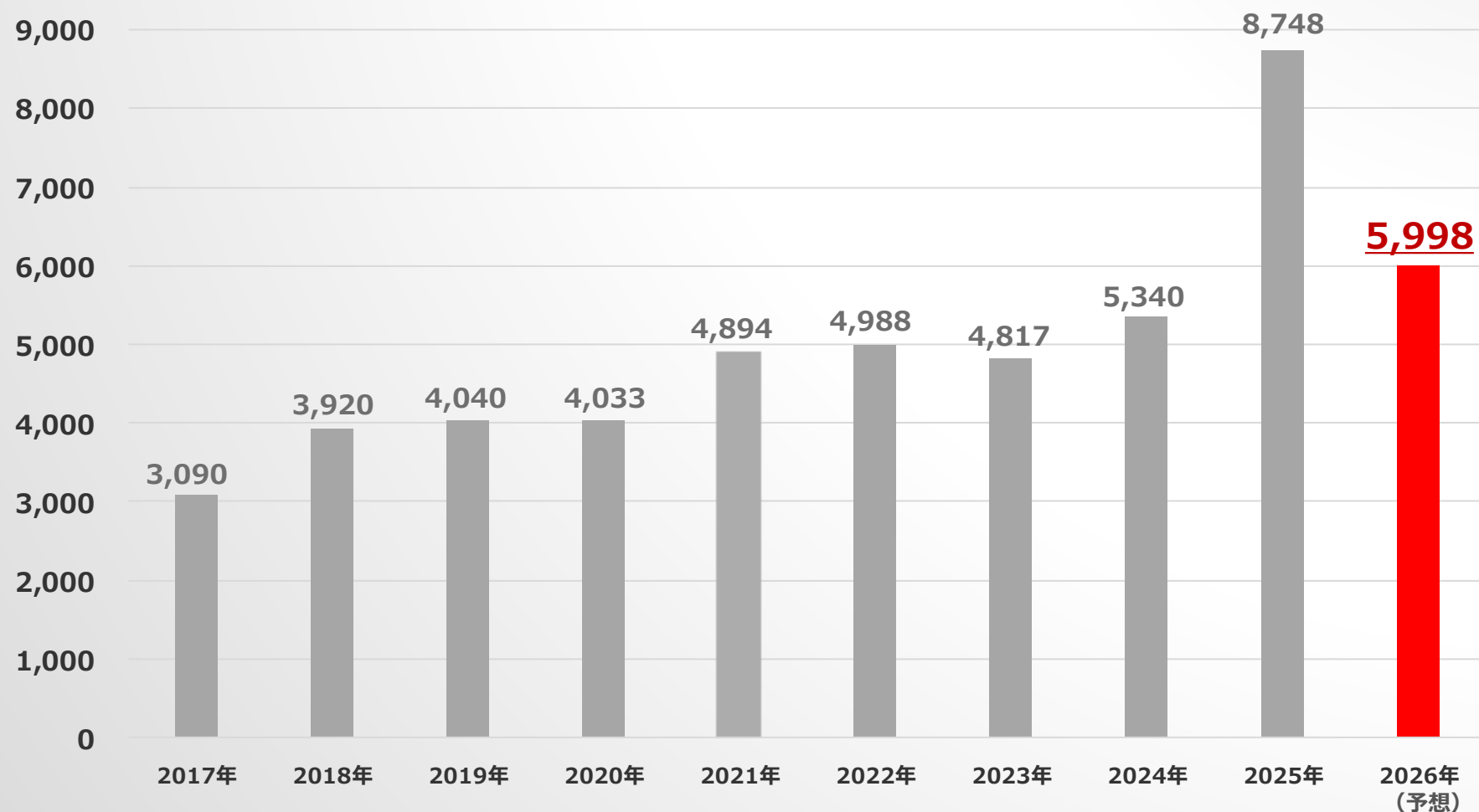


2026年12月期の業績見通し

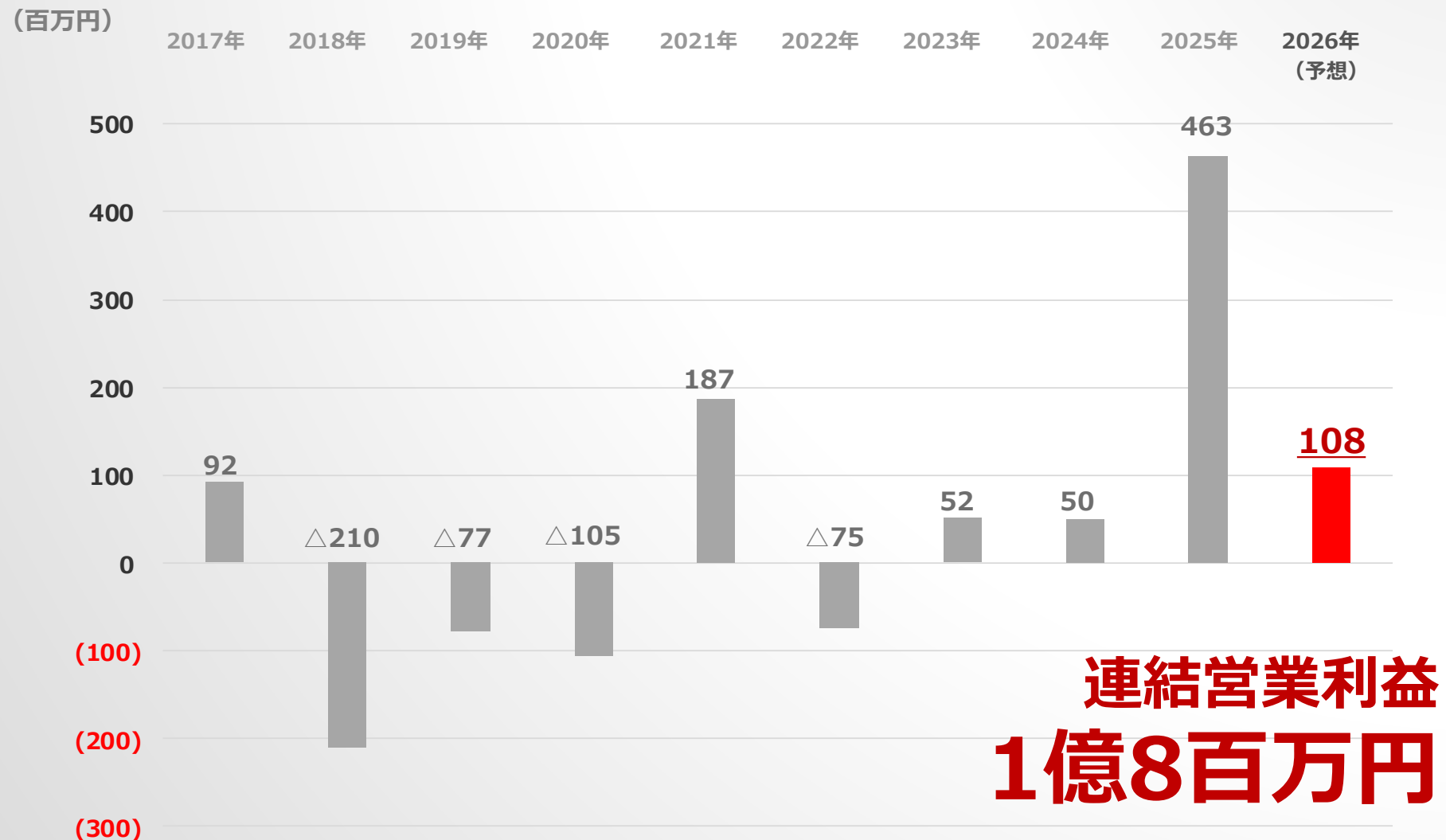
連結営業収益（通期予想）

連結営業収益**59億98百万円**

（単位：百万円）




連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名	株式会社フォーサイド（持株会社） 
所 在 地	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階
設 立 日	2000年3月31日（2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330）
資 本 金	10,000,000円（2026年2月13日現在）
経 営 陣	代表取締役 大島 正人 常務取締役 佐々木 博司 取締役 根津 孝規 取締役 泉 信彦 監査等委員 田崎 司郎 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛
顧 問	法律顧問 TMI総合法律事務所
事 業	株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
主な子会社	<ul style="list-style-type: none">・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営・(株)antz：総合人材サービス事業/運送事業/ITソリューション事業・(株)エム：一般貨物自動車運送事業/貨物利用運送事業・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/出版事業・(株)AI Tech Solutions：AIツール開発/AI開発支援用サーバー販売、販売代理

（2026年2月13日現在）



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。